

お子さまの成長とお祝い行事

赤ちゃん誕生、ここから成長と共に節目ごとの通過儀礼が長い歴史の中ではぐくまれてきました。日本の風土に生きる文化として受け継がれています。

◇安産祈願

「着帯の儀」はまだ記憶に新しいのではないでしょうか。皇太子妃雅子さまご懐妊のニュースでよく取り上げられました。三、四か月目にご懐妊が確認されてから五か月目（臨産の一月前）「戌の日」を選んで「着帯の儀」が行われています。

神社での安産のご祈願は、懐妊五ヶ月目頃の「戌の日」が一般的です。神社から安産のお札と御守り、帯（岩田帯・齋肌帯）を受け、お腹に巻き、家族でお祝いをし、誕生への準備と心構えをします。

◇初宮参り

誕生後、出生届の関係で名づけは七日目くらいにすませ、半紙に書き神棚に掲げます。

安産のお札と御守りを持ってお宮参り。男の子は生後三十二日、女の子は三十三日目と言わ

神棚の祭り方



神棚はどこにお祭りするの？

「清く、明るく、高い」場所で、お供え・礼拝に便利なところです。

具体的にはどこがいかがといえます。事務所や家庭でも設計段階で設定しておくのが一番いいでしょう。

まず、神棚の向きは、南向きがいいのですが、東向きでもかまいません。現在は、高層建造物が多いので、場所を選ぶのも大変です。このような場合、なるべく清浄な場所を選び、「雲板」を設けて、そのしたに神棚を置きます。雲形付きのセットされた神棚もあります。大きさは、神立、神燈、お供えをのせる三方、折敷き等の神具が置ける広さが必要です。

神棚はどんな形がいいのですか？

神棚の宮形には、「神明型」、「片屋根型」、「箱宮型」などがあります。

れますが、母子の状態で決める方がいいでしょう。神社では100日目をお祝いしています。

お宮参りの数日前に、お子さまの名前・誕生日、ご両親の氏名・誕生日を正確にご連絡下さい。御守りやお食い初めセットの準備に必要です。

◇七五三

七五三は、十一月十五日に氏神さまに両親とお子さまが一緒に参詣する行事です。今日までの無事成長を神さまに感謝し、これからも健やかな成長を祈願します。

男児Ⅱ3歳と5歳。
女児Ⅱ3歳と7歳。

3歳の男女児は赤ちゃんを終え丸坊主から髪を伸ばす髪置き行事。5歳になると男児は袴を付ける袴着。7歳になると女児はひも付き着物から、帯を結める。古くから、このように子どもの成長を喜び産土神へ感謝に詣でました。

また、屋根を造る材料、御神座数により「一社造」「二社造」などと数多くあります。その地域の伝承様式と設置する場所とのバランスを考えて選ぶのがいいでしょう。

新しい神棚はどうすれば？

・家を改築した場合

まず改築前に氏神様の神職から「神あげ」をしていただき、古い神棚を撤去しなければなりません。そして一時的に、仮殿にお遷つり願わなければなりません。古い建物の解体前の取り壊し工事安全祈願祭の祭に、神職にお願いして同時に処置しておくのが最も簡単です。

・新しい神棚に取り替える場合 改築の場合ほとんど同じです。取り替え時点で神職に取り替えご遷座祭を同時していただくのがいいでしょう。

神棚用の祭具

神棚の大きさに合わせて以下のものを取り揃えます

・注連縄（しめなわ）

・紙垂（しで）

・神立（さかきたて）Ⅱ白い陶器で神を立てるもので、左右一対。

・瓶子（へいし）Ⅱ白い陶器で、蓋付きのお神酒を入れる容器。左右一対。

・水器Ⅱお水を入れる白い陶器の器。平盆（ひらか）Ⅱ白い陶器製の小皿。

・神燈（灯明）Ⅱロウソクを立てるもの。神式のもの一対。

・三方（さんぼう）か折敷（おしき）

新宮神社の御祭神と祭礼日

- （1）神社名 新宮神社
- （2）鎮座地 高知県南国市十市字新宮山五九三七番地
- （3）祭神 天照皇大神・伊邪那岐神・健甕須佐之男神
- （4）旧社格 郷社・十市地区の総鎮守。
- （5）建物 本殿・流れ造 幣殿・拝殿・権現造 銅版屋根
- （6）境内社①豊受神社 祭神・豊受姫神（本殿東側）
②神母神社 祭神・保食神（本殿西北側）
③天満宮 祭神・菅原道真公（本殿西南側）
④子育神社 祭神・木花開耶姫神（第一鳥居前）
- （7）祭礼日
歳旦祭 1月1日～1月3日まで初詣。「郷土を描く絵画展」。
・「お焚上げ祭」 1月3日午後2時頃から。（古札消却）
・どんど焼き（1月13日午前10時すぎ、メダカ池で執行）
七草・若菜節句・昭和祭 1月7日
・厄払い 1月末、節分に予約を予定。
（家祈禱受付Ⅱ1～2月が多い、月日随時可）
節分祭 2月3日（金）
春祭（祈年祭） 2月20日
・夏越の祓い 6月30日暑い夏を無病息災で越す茅輪拔祭。
・うらぼん会 7月15日祖先の霊をまつる日。
境内献灯。迎え火・送り火・灯籠流し
宵宮祭 7月16日（日）午後2時・子どもみこし・ねり太鼓出発。奉納・相撲、絵馬、太鼓と踊り・はし拳等奉納
夏祭 7月18日
・星祭り 8月末の土・日曜日。星祓い。
御立祭 旧9月末日（秋大祭より早い場合は秋大祭翌日）
秋大祭（神事） 11月の第一日曜日11月5日オナバレ・ねり太鼓・流鏑馬・綱曳
・七五三祭り 11月15日（前後お好きな日にご予約可）
新嘗祭（秋祭） 11月24日
御迎祭（おむかえ） 旧10月29日
・一陽来復 12月22日（冬至） 陽が帰ってくる！
除夜祭（大晦日） 12月31日大祓・福火祭・除夜祭・年越参（8）神職 宮司・森國英夫 権禰宜・森國美和子・森國真人（社務所・宮司宅） 高知県南国市緑が丘一丁目一七〇一
電話088-865-5123 fax865-5404



Ⅱ三方は三方に穴のあいた台の付いたもの、台のないものを折敷という。塗り物でない方がいい。

神棚の内部の祭り方

・伝承されてきた御霊代（御神体）がある場合は、

伝承通りにご神座に安置します。錦の布や紅白の絹で覆った方がいい。この遷座は神職にお願いした方がいいでしょう。

・一般的な神棚の場合 神社でお受けしてきたお札をお祭りします。

ご神座の順序。左右に余裕のある神棚の場合には、神棚に向かって中央が最上位、次が右、次が左、の順に外側お祭りして行きます。

例：①②③④⑤

○算賀（年祝い）

神さまに無事を感謝し、お礼参りを行い、お祝いをします。

○忌明けの日数

父母Ⅱ五十日、
夫Ⅱ三十日
妻Ⅱ二十日
嫡子Ⅱ二十日
夫の父母Ⅱ三十日
祖父母Ⅱ三十日

園芸種子・農用ビニール・園芸資材・肥料及び農業
高知前川種苗
高知市相生町6-3 ☎(0888)83-5201代
吉西営業所 ☎(0881)33-2250 南国営業所 ☎(0888)64-3069
中村営業所 ☎(0880)34-1730 香野研究農場 ☎(0888)94-4120

南国建興(株)

〒783-0085
高知県南国市十市 3149 番地

味蔵
Tel 088-865-4377

黒潮石油
高知市仁井田 1427-7 Tel 0888-47-7575

手作り 弁当 ミラノ
緑ヶ丘3丁目3413番地
Tel 088-865-3311

PRO TECH タケチ
〒783-0085 南国市十市 1627-5
TEL fax 088-865-8587

南国市指定給水装置工事事業者

(有) 十市水道工務店

Tel 088-865-0724
FAX 088-865-0752

HOME MADE **ぱんの家**
南国市緑ヶ丘2-1719
Tel 088-865-6535

ピカソ カラオケ
お好み焼き
緑ヶ丘1-302-2
Tel 865-6363

印刷：川北印刷(株)

米田歯科
南国市緑ヶ丘1-1105-1
Tel 088-865-6400

オカモト聖鳳堂薬局
サンブラザ新鮮館・緑ヶ丘店内
Tel 088-865-5783